



空いけ阪大



私たち空いけ阪大は2005年に設立されて以来、**無尾翼機**を研究・製作し続けています。飛行機製作を通して**ものづくり**の喜びを感じたり、技術やノウハウを得たりといった**様々な経験**を得ることを目的としたプロジェクトです。

私たちは製作した飛行機を発表する舞台として鳥人間コンテストへの出場を目指しています。今まで滑空機の開発をしていましたが、2010年から人力機の開発を進めています。2012年度には**鳥人間コンテスト**でディスタンス部門に出場しました。

鳥人間コンテストとは



自作した個性あふれる飛行機を夏の**琵琶湖**で飛行させる大会。「滑空機」「タイムトライアル」「ディスタンス」の3部門がある。

無尾翼とは

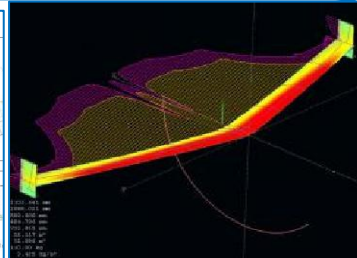
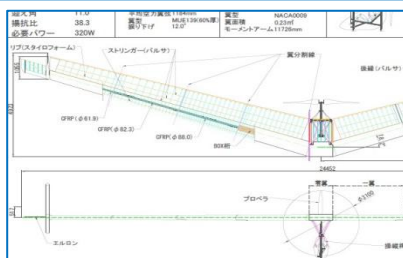


胴体が短く**尾翼がない**飛行機。鳥に近い形状をしている。**無尾翼人力機**の安定飛行を達成できれば**世界初**の事となる。

鳥人間コンテストまでの流れ

設計

無尾翼機は**空気抵抗が低減**されるという利点がありますが、同時に**安定性が低い**という弱点があります。それを**いかに補うか**という研究が翼の設計の大きなテーマの1つです。



製作

製作では設計通りの性能を出す為に、寸法・重さ等が**正確**でなければなりません。また、限られた時間、人員で完成させるために**作業の効率化**も重要で、年々**ノウハウを蓄積**し改善されていきます。



試験

機体の**強度試験**を行ったり、**テストフライト**で実際に機体を飛行させ空力特性を確認・調整していきます。テストフライトの回数を重ねることで、**より安定に飛行**できるように仕上がっていきます。



鳥人間コンテスト

そして次世代へ...



2013年度大会に向けて

今年の機体は昨年に比べておよそ17kgという**大幅な軽量化**を達成しました。さらにリカンベント・ギアボックスといった**新機構**を搭載し、よりパイロットの**力を最大限に引き出し**ます。

こういった改良の結果、私たちalbatrossは大会書類審査を無事通過し、**2013年度大会への出場**が決定しました。現在はテストフライトを繰り返し、機体の調整行っており、無尾翼人力機の安定飛行に向けて日々**挑戦の気持ち**を燃やし続けています。

